

Engineering Software Development

WEST FIELD

>> 土木技

Civil-CALS

Road-CALS

【配布展開図】

使用説明書

ご使用前に必ずこの「使用説明書」をお読みの上、正しくお使いください。

また、本書をすぐに利用できるように、分かりやすいところに保管してください。

ウェストフィールド株式会社

はじめに

この度は、「配布展開図」をお買い上げいただき誠にありがとうございます。「配布展開図」は、平均法面積計算を基にした路上混合の配合設計により、測点間のセメント袋数の計算や、決められた内容量のセメント袋を、どの範囲に配布すべきか計算するためのソフトウェアです。

本書は、本製品の基本的な操作手順や取り扱い方法について説明しています。本製品の機能を十分にご活用いただくため、ご使用前に必ず本書をお読みください。またお読みになった後は大切に保管してください。

ウェストフィールド 株式会社

*** 重要 ***

- このソフトウェアおよびマニュアルの一部または全部を無断で使用、複製することは出来ません。
- このソフトウェアは、スタンドアローン版製品については、コンピューター1台につき1セット、クライアントサーバー版製品についてはサーバーコンピューター1台につき1セット購入が原則となっています。
- このソフトウェアおよびマニュアルは、本製品の使用許諾契約書のもとでのみ使用することが出来ます。
- 大切な文書やデータは、必ずコピー(複製)をおとりください。お客様の誤操作及び本製品に異常が発生した場合、文書やデータが消失することがあります。
- お客様が本製品を使用して作成した文書やデータに関し、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品の故障による障害、文書やデータの損失による損害、その他本製品の使用により生じた損害について、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ソフトウェアの仕様およびマニュアルに記載されている内容は、将来予告なしに変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

本書で扱う用語および操作方法について

本書では、Windows の標準的な用語および操作方法を使って説明しています。Windows を使用したことのない方は、予め操作して頂くか、あるいは「Microsoft Windows2000/XP/Vista/7 ファーストステップガイド」など Windows に添付されているマニュアル類を通読されることをお勧めします。

配布工事展開図の起動・終了

配布工事展開図の図面を作成する

配布展開図とは

配布展開図	5
-------------	---

配布工事展開図の起動・終了

配布展開図の起動	6
1. 配布展開図を新規起動する.....	6
2. 配布展開図を修正起動する.....	8
配布展開図の終了	9
1. 新規起動した配布展開図を終了する.....	9
2. 修正起動した配布展開図を終了する.....	10

配布工事展開図の図面を作成する

図面の用紙設定を行う	11
1. 用紙の設定.....	12
展開図データを作成する.....	15
1. 区割り計算を行う.....	15

配布展開図とは

配布展開図

展開図は平面の情報を図面化することでより、わかりやすく情報を伝えるために生まれてきた土木独特の表現方法です。表現力を増すために縦横の縮尺を変えたりすることもあります。

配布展開図は、平均法面積計算を基にした路上混合の配合設計により、測点間のセメント袋数の計算や、決められた内容量のセメント袋を、どの範囲に配布すべきか計算するためのソフトウェアです。

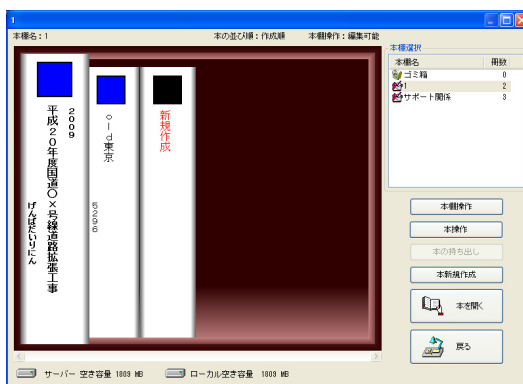
配布展開図の入力方法は土木展開図と同様ですので、データの入力方法については、土木展開図の操作説明を参照してください。

配布展開図の起動・終了

配布展開図の起動

1. 配布展開図を新規起動する

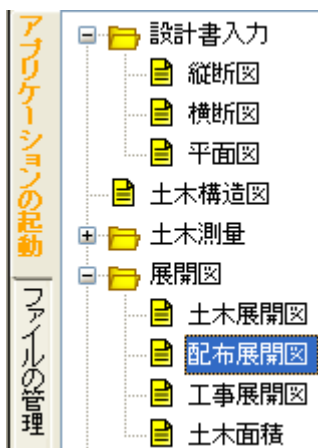
土木技を起動し、土木 BOOK を開きます。



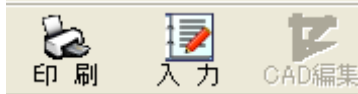
補足

土木BOOKの作成方法については、別紙「基本システム」操作マニュアルをご参照ください。

土木 BOOK の「アプリケーションの起動」タブ選択時のツリーから「展開図」>「配布展開図」をクリックします。



画面上部の[入力]ボタンをクリックします。



「配布展開図」を起動します。


新規起動時には、「使用する用紙の設定」画面を表示します。

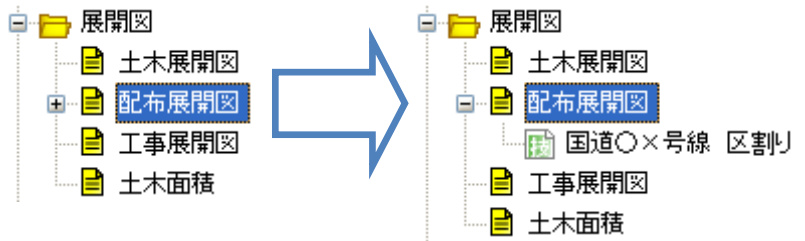
各種設定を行い、[OK]ボタンをクリックしてください。

補足

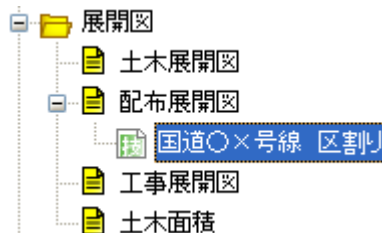
「使用する用紙の設定」画面の操作方法については、PXX」をご参照ください。

2. 配布展開図を修正起動する

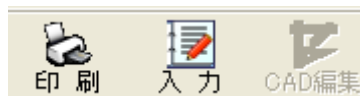
土木 BOOK の「アプリケーションの起動」タブ選択時のツリーから「展開図」>「配布展開図」の  をクリックすると、「配布展開図」で作成したインデックスを表示します。



作成済みの配布展開図の名前の付いた子インデックスをクリックします。



画面上部の[入力]ボタンをクリックします。
作成済み「配布展開図」が起動します。



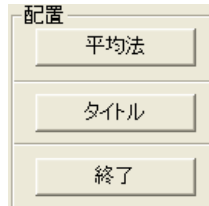
補足

土木 BOOK の「ファイルの管理」ツリー、「電子納品の整理」ツリーからも修正起動が可能です。

配布展開図の終了

1. 新規起動した配布展開図を終了する

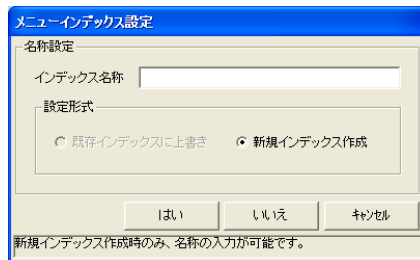
「配布展開図」画面右側にある[終了]ボタンをクリックします。



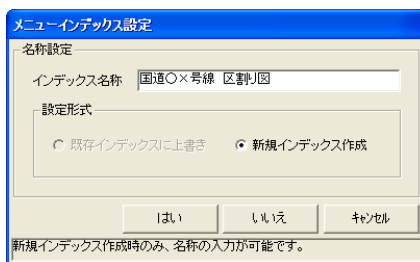
補足

「配布展開図」画面のメニューから「ファイル」>「アプリケーションの終了」と選択、または「配布展開図」画面の右上にある×ボタンをクリックしても、配布展開図を終了することが出来ます。

「メニューインデックス設定」画面を表示します。



「インデックス名称」欄に保存するデータの名前を入力し、[はい]ボタンをクリックします。



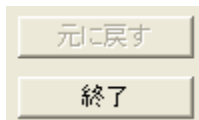
新しい配布展開図のインデックスが作成され、土木 BOOK のメニュー画面に戻ります。

補足

「メニューインデックス設定」画面で[いいえ]ボタンをクリックすると、作成した配布展開図を登録せずに、土木 BOOK の画面に戻ります。

2. 修正起動した配布展開図を終了する

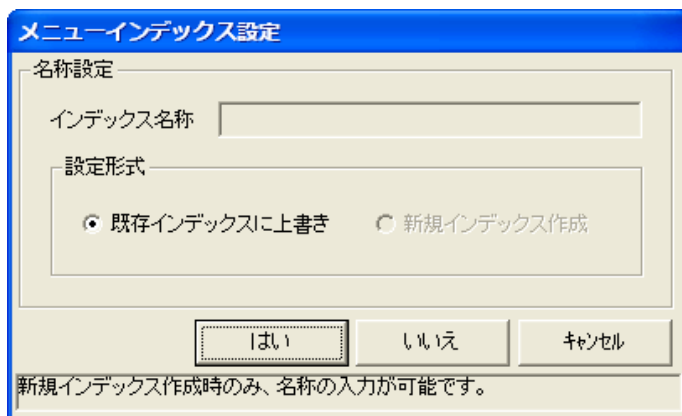
- ① 「配布展開図」画面右側にある[終了]ボタンをクリックします。



補足

「配布展開図」画面のメニューバーの[ファイル]から[終了]を選択、または「配布展開図」画面の右上にある×ボタンをクリックしても、配布展開図を終了することができます。

- ② 「メニューインデックス設定」画面が次のように表示されます。



- ③ [はい]ボタンをクリックします。

修正した配布展開図が上書き保存され、土木 BOOK のメニュー画面に戻ります。

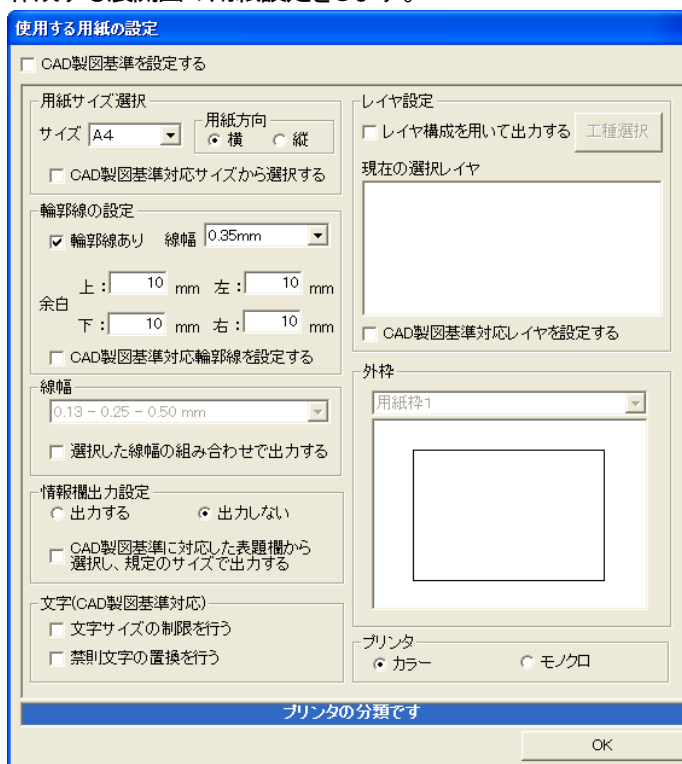
補足

[いいえ]ボタンをクリックすると、修正した配布展開図を登録せずに、土木 BOOK の画面に戻ります。

配布展開図の図面を作成する

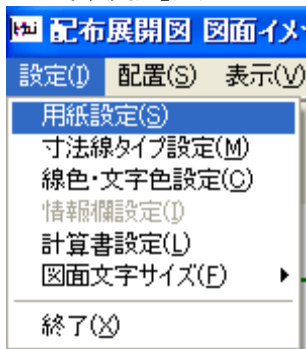
図面の用紙設定を行う

作成する展開図の用紙設定をします。



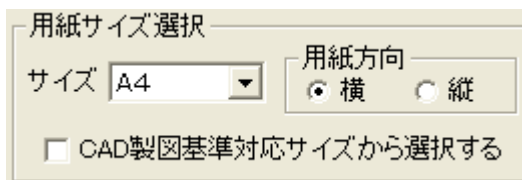
この画面は、以下の場合に表示します。

- 配布展開図の新規起動時
- 「配布展開図」画面のメニューから「設定」>「用紙設定」を選択時



1. 用紙の設定

- ① 用紙サイズ、用紙の縦横方向を設定します。用紙サイズは[▼]ボタンをクリックすることで、選択肢を表示します。



用紙サイズ選択

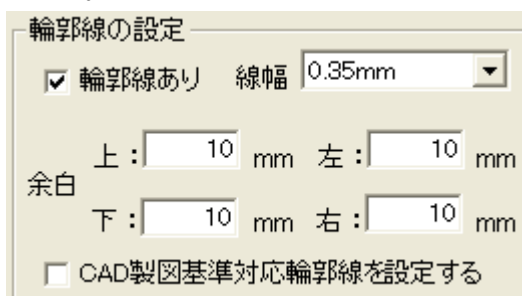
サイズ ▼

用紙方向
 横 縦

CAD製図基準対応サイズから選択する

- 補足** 「CAD 製図基準対応サイズから選択する」チェック欄にチェックを入れると、CAD 製図基準に沿った用紙サイズのみ選択出来るようになります。

- ② 輪郭線の出力の可否と、余白を設定します。輪郭線を出力する場合は、「輪郭線あり」チェック欄にチェックを入れ、「線幅」欄から輪郭線の線幅を[▼]ボタンから選択します。また、余白の設定を行います。「輪郭線あり」チェック欄にチェックが入っていない場合、「線幅」欄は選択出来ません。



輪郭線の設定

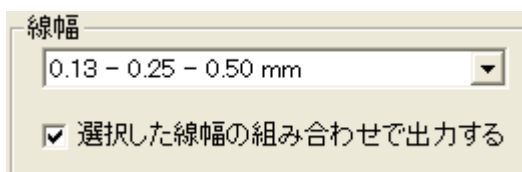
輪郭線あり 線幅 ▼

余白
上 : mm 左 : mm
下 : mm 右 : mm

CAD製図基準対応輪郭線を設定する

- 補足** 「CAD 製図基準対応輪郭線を設定する」チェック欄にチェックを入れると、CAD 製図基準に沿った輪郭線の線幅のみ選択出来るようになります。

- ③ 図面上に描画する輪郭線以外の線の幅を設定します。[▼]ボタンから選択し、「選択した線幅の組み合わせで出力する」チェック欄にチェックを入れます。



線幅

▼

選択した線幅の組み合わせで出力する

- 補足** この項目を設定することで、自動的に CAD 製図基準に沿った線幅設定で図面を作成出来るようになります。

- ④ 情報欄の出力可否設定を行います。情報欄を出力する場合は、「出力する」を選択します。どのような様式の情報欄を選択するかはここでは設定を行いません。情報欄の選択方法については、PXX「」をご参照ください。

情報欄出力設定

出力する 出力しない

CAD製図基準に対応した表題欄から選択し、規定のサイズで出力する

補足 「CAD 製図基準に対応した表題欄から選択し、既定のサイズで出力する」チェック欄にチェックを入れると、CAD 製図基準に沿った表題欄のみ設定出来るようになります。

- ⑤ 図面上に表示する文字の文字サイズを CAD 製図基準に定められた文字サイズで揃える場合は、「文字サイズの制限を行う」チェック欄にチェックを入れます。また、図面内に入力、表示する文字に禁則文字を表示させないためには、「禁則文字の置換を行う」チェック欄にチェックを入れます。

文字(CAD製図基準対応)

文字サイズの制限を行う

禁則文字の置換を行う

- ⑥ 作成する図面に、レイヤ構成を設定する場合は、「レイヤ構成を用いて出力する」チェック欄にチェックを入れます。これ以降のレイヤ構成の操作方法については、PXX「」をご参照ください。

レイヤ設定

レイヤ構成を用いて出力する 工種選択

現在の選択レイヤ

CAD製図基準対応レイヤを設定する

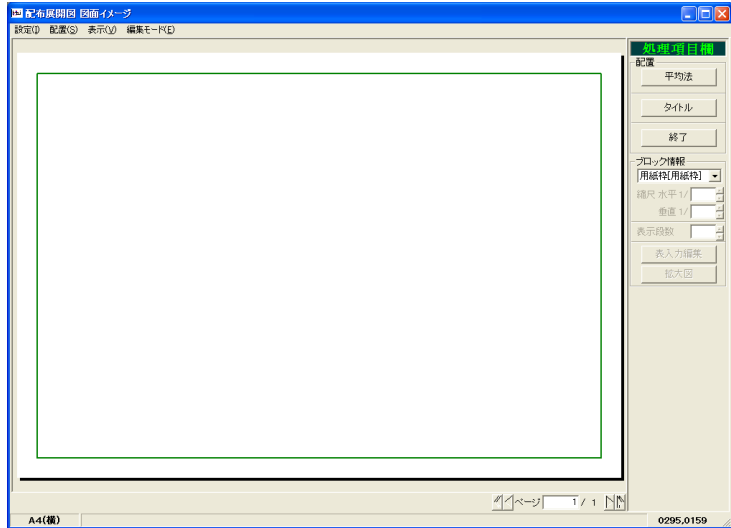
補足 「CAD 製図基準対応レイヤを設定する」チェック欄にチェックを入れると、CAD 製図基準に沿ったレイヤ構成のみ選択することが出来ます。

- ⑦ 工事展開図で作成する図面をカラーで作成するか、モノクロで作成するか選択します。

プリンタ

カラー モノクロ

- ⑧ 画面下部の[OK]ボタンをクリックすると、設定を確定し、「配布展開図」画面を表示します。



補足

- 画面左上にある「CAD 製図基準を設定する」チェック欄にチェックを入れると、すべての設定に対して、CAD 製図基準に沿った項目のみ選択することができます。
- 用紙の設定は、変更出来ます。

展開図データを作成する

配布展開図では初めに面積計算を行うための平均法データを入力します。

1. 区割り計算を行う

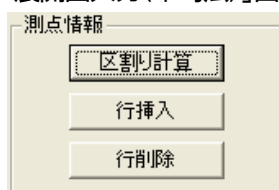
路上混合において、配合設計に基づき以下のセメントの配布量の計算を行います。

- 指定したセメント袋を配布する測点範囲を計算します。
- 指定した範囲でどのくらいセメント量が必要か計算します。

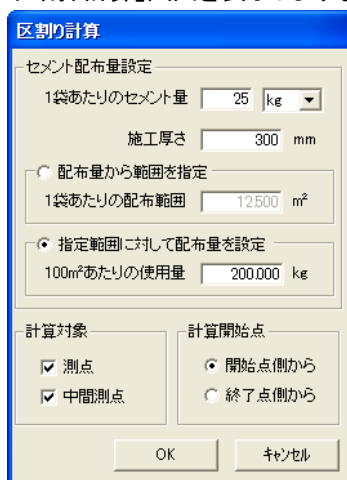
20kg 袋のほか、1t 袋にも対応しています。

区割り計算は、設計・実測のそれぞれに対して設定することが出来ます。

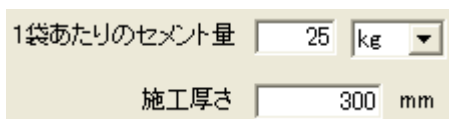
- ① 「展開図入力(平均法)」画面の[区割り計算]ボタンをクリックします。



- ② 「区割り計算」画面を表示します。



- ③ 1袋あたりのセメント量と、その単位、施工時の厚さを入力します。



補足 「施工厚さ」は 1～9999 の整数が入力可能です。

- ④ 「配布量から範囲を指定する」場合と、「ある範囲に対して配布量を指定する」場合で、希望する方法を選択し、それぞれ必要なデータを入力します。

<input type="radio"/> 配布量から範囲を指定
1袋あたりの配布範囲 <input type="text" value="12500"/> m ²
<input checked="" type="radio"/> 指定範囲に対して配布量を設定
100m ² あたりの使用量 <input type="text" value="200.000"/> kg

補足 面積は 1～9999.999 の小数が入力可能です。

- ⑤ 区割り計算の対象に測点を使用する場合は、「測点」チェック欄にチェックを入れ、中間測点を使用する場合は、「中間測点」チェック欄にチェックを入れます。

計算対象
<input checked="" type="checkbox"/> 測点
<input checked="" type="checkbox"/> 中間測点

- ⑥ 区割り計算の開始を開始点と終了点のどちらから行うかを選択します。

計算開始点
<input checked="" type="radio"/> 開始点側から
<input type="radio"/> 終了点側から

補足 計算対象の「測点」または「中間測点」のチェックを外すと、チェックを外した測点を無視して区割り計算を行います。

- ⑦ [OK]ボタンをクリックします。
「展開図入力(平均法)」画面に戻り、設定したデータをもとに区割り計算を行い、計算結果をデータ入力欄に表示します。

